

小千谷運輸有限公司

環境経営レポート

対象期間：2024 年 1 月～2024 年 12 月

発行日：2025 年 2 月 7 日

目 次

1	事業活動の概要	2
2	実施体制	3
3	環境経営方針	4
4	環境経営目標	5
5	環境経営計画(Plan)	6
6	環境経営計画の実施(Do)	7
7	取り組み状況の確認及び評価(Check)	8
8	中期の環境経営目標	9
9	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
10	代表者による全体の評価と見直し(Act)	11・12

1 事業活動の概要

① 事業所名及び代表者名

小千谷運輸有限会社 渡邊政宏

② 本社 所在地

東京都練馬区豊玉中 3-20-4

③ 対象事業所

本社：東京都練馬区豊玉中 3-20-4

埼玉営業所：埼玉県坂戸市新堀 138-2

所沢配送センター：埼玉県所沢市坂之下丸久保 705-1

④ 資本金

7,500,000 円

⑤ 設立年月日

1971 年 1 月 12 日

⑥ 事業活動の内容

運送業、倉庫業

⑦ 事業の規模

従業員数 90 名

床面積 900m²

⑧ 環境管理責任者

川俣俊二

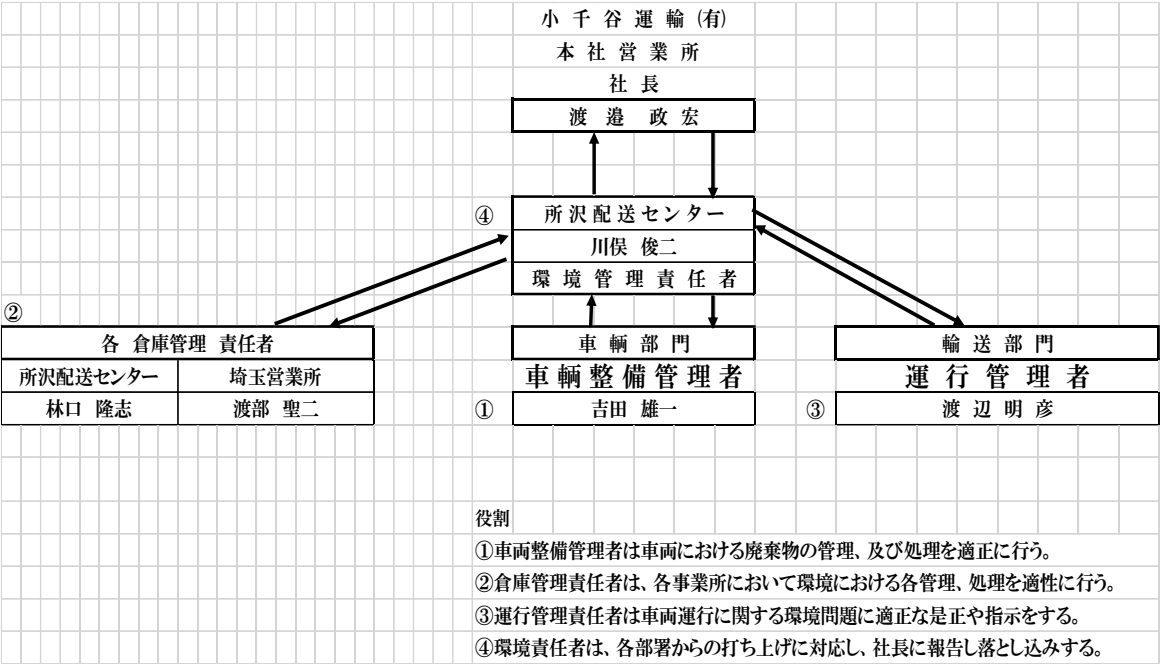
⑨ 事務局

川俣俊二

TEL 03-3994-0411

2 実施体制図

代表者は各社員からの打上に対し直接、又は首長を通し問題点の対応を指示する。



＊代表者の役割

- ・環境経営方針の策定
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境管理責任者の任命
- ・実施体制の構築（EA21 を維持運用するための経営資源の用意）
- ・全体評価の見直し及び指示

3 環境経営方針

基本理念

当社は一般貨物輸送及び倉庫管理を生業として、出荷、受入、納品、集荷の各段階における環境保全に取り組み、会社全体で環境汚染の予防に努めます。

基本方針

- ① 当社は自動車からの排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、エコドライブ（アイドリングストップ、デジタルタコグラフの導入）低公害車への代替えを実施し、燃料の節約、燃費の向上、二酸化炭素の削減及び電力の削減に連続的に取り組みます。
- ② 当社は本社及び各営業所において電力の削減に取り組みます。
- ③ 当社は廃棄物の削減、水の使用量を節約し、適切な処理及びリサイクルに努めます。
- ④ 当社はグリーン（エコ）購入を推進致します。
- ⑤ 当社は環境関連の法規制及び条例を遵守致します。
- ⑥ 当社は全社員で環境への意識を高め、環境経営方針に沿った行動を行うよう全社員教育を致します。

小千谷運輸有限会社
代表取締役社長 渡邊政宏
2021年4月19日改訂

4 環境経営目標

期間：2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日

環境経営目標
全社の二酸化炭素発生量を 718, 011 (kg-CO ₂) 以下にする。
電力の使用量を 29,874(kWh)以下にする。
ガソリンの使用量を 43,755(L)以下にする。
軽油の使用量を 233,556(L)以下にする。
灯油の使用量を 143(L)以下にする。
液化石油ガス(LPG)使用量を 460(kg)以下にする。
水使用量を 408(m³)以下にする。
一般廃棄物排出量を 5,991(kg)以下にする。
産業廃棄物排出量を 948(kg)以下にする。
グリーン(エコ)購入を推進する。(エコカー、再使用紙、詰替え用品の購入)
ガソリンの燃費を 7.39(km/L)以上にする。
軽油の燃費を 6.66(km/L)以上にする。

＊電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー（株）2023 年度実績（2024 年 10 月 3 日
改正版参照）0.408kg - CO₂/kWh を採用している。

5 環境経営計画(Plan)

主項目			活動計画	担当場所
エネルギー消費削減	電力使用量の削減	冬場	エアコンの適正温度管理の徹底(24℃)	全営業所
			暖房をエアコンのみからストーブを併用する。	
		夏場	エアコンの適正温度管理の徹底(27℃)	
			ブラインドの調整による日射の遮断、自然光の確保にて照明効果の取り入れ	
			グリーンカーテンや葦簀も取り入れる。	
		通期	3ヶ月毎にフルターを清掃する。	
			不在時の消灯と休憩時間消灯。	
			パソコン OA 機器等、省エネモードに切り替える。	
	ガソリン、軽油の使用量の削減	通期	アイドリングストップの実施(休憩中、仮眠中など)	全営業所
			急発進、急ブレーキなど、急が付く運転をしない。	
			適正な積載量を維持する。	
			エコカー(新長期排出ガス規制適合車)を優先的に購入する。	
			排気ガスや騒音の抑制の為、適正な車両整備を行っている。(3ヶ月点検等)	
			一般配送業の併用	
			長距離配送を帰り荷等、庸車の併用	
			JR コンテナ便の併用	
	灯油の削減	冬場	室温 20℃以上でのストーブの使用はしない。	
			日中は車両洗浄機で温水は使わない。	
	LPG の削減		風呂場はシャワーのみにし、温水を出しっぱなしにしない。	
個別計画	水の削減	通期	手元で水が止められる車両洗浄機を活用し節水に努める。(埼玉営業所)	埼玉営業所
			手元で水が止められる高圧洗浄機を活用し節水に努める。(所沢)	所沢
			雨水を地下に浸透させる設備(浸透升)により排出量を削減している。	埼玉、所沢
			台所で溜め水等節水に努める。	全営業所
			トイレは大小を区分けて使用(小で大の水を使わない)	
	廃棄物の削減	通期	一般ごみ、資源ごみの分別により廃棄物削減、及びリサイクルの向上。	全営業所
			コピー用紙の再利用	
			段ボールのリサイクル	
	産業廃棄物の削減	通期	廃油のリサイクル(有価物化)	埼玉、所沢
			鉄類のリサイクル(有価物化)	
			バッテリーのリサイクル(有価物化)	
			廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理	
	教育・訓練	年1回	安全講習会及び運転適性検査の実施	全営業所
		隔年	消火訓練を行う。(2年に一度)	
		通期	新人教育を行う。	

次年度(2025年)も継続

6 環境経営計画の実施(Do)

主項目			活動計画の実績	チェック
エネルギー消費削減	電力使用量の削減	冬場	エアコンの適正温度管理の徹底(24℃)	○
			暖房をエアコンのみからストーブを併用する。	○
		夏場	エアコンの適正温度管理の徹底(27℃)	○
			ブラインドの調整による日射の遮断、自然光の確保にて照明効果の取り入れ	○
			グリーンカーテンや葦簀も取り入れる。	○
		通期	3ヶ月毎にフィルターを清掃する。	○
			不在時の消灯と休憩時間消灯。	○
			パソコン OA 機器等、省エネモードに切り替える。	○
	ガソリン、軽油使用量の削減	通期	アイドリングストップの実施(休憩中、仮眠中など)	○
			急発進、急ブレーキなど、急が付く運転をしない。(デジタコによるチェック)	○
			適正な積載量を維持する。	○
			エコカー(新長期排出ガス規制適合車)を優先的に購入する。2024 年 2 台	○
			排気ガスや騒音の抑制の為、適正な車両整備を行っている。(3ヶ月点検等)	○
			一般配送業の併用	○
			長距離配送を帰り荷等、庸車の併用	○
			JR コンテナ便の併用	○
	灯油の削減	冬場	室温 20℃以上でのストーブの使用はしない。	○
			日中は車両洗浄機で温水は使わない。	○
	LPG の削減		風呂場はシャワーのみにし、温水を出しっぱなしにしない。	○
個別計画	水の削減	通期	手元で水が止められる車両洗浄機を活用し節水に努める。(埼玉営業所)	○
			手元で水が止められる高圧洗浄機を活用し節水に努める。(所沢)	○
			雨水を地下に浸透させる設備(浸透升)により排出量を削減している。	○
			台所で溜め水等節水に努める。	○
			トイレは大小を区別して使用(小で大の水を使わない)	○
	廃棄物の削減	通期	一般ごみ、資源ごみの分別により廃棄物削減、及びリサイクルの向上。	○
			コピー用紙の再利用	○
			段ボールのリサイクル (自治会に協力)	○
	産業廃棄物の削減	通期	廃油のリサイクル(有価物化)	○
			鉄類のリサイクル(有価物化) 2024 年 11 月	○
			バッテリーのリサイクル(有価物化) 2024 年 11 月	○
			廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理	○
	教育・訓練	年1回	安全講習会及び運転適性検査の実施 2024 年 10 月 12 日	○
		隔年	消火訓練を行う。 2023 年 10 月 21 日	○
		通期	新人教育(2024 年はいませんでした。)	

7 取り組み状況の確認及び評価(Check)

取り組み状況の確認						
項目	目標値		達成率	実績		評価
会社全体の二酸化炭素発生量	718, 011	(kg-CO2)以下。	→ 102.8%	698,456	(kg-CO2)	達成
電力の使用量	29,874	(kWh)以下。	→ 101.5%	29,427	(kWh)	達成
ガソリンの使用量	43,755	(L)以下。	→ 103.5%	42,262	(L)	達成
軽油の使用量	233,556	(L)以下。	→ 102.7%	227,415	(L)	達成
灯油の使用量	143	(L)以下。	→ 105.1%	136	(L)	達成
液化石油ガス(LPG)の使用量	460	(kg)以下。	→ 103.6%	444	(kg)	達成
水使用量	408	(m³)以下。	→ 108.5%	376	(m³)	達成
一般廃棄物排出量	5,991	(kg)以下。	→ 102.5%	5,844	(kg)	達成
産業廃棄物排出量	948	(kg)以下。	→ 135.2%	701	(kg)	達成
ガソリンの燃費(ワゴン車)	7.39	(km/L)以上。	→	7.4	(km/L)	達成
軽油の燃費(トラック)	6.66	(km/L)以上。	→	6.7	(km/L)	達成
グリーン(エコカー)商用車購入の推進	2	台	→	2	台	達成

CO2 排出量の計算に使用した CO2 排出係数

	排出係数
電力	0.408
ガソリン	2.32
軽油	2.58
灯油	2.49
LPG	3.00

8 中期の環境経営目標

中長期の環境経営目標			
2025 年度	2026 年度		2027 年度
会社全体の二酸化炭素発生量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 718, 011 (kg-CO ₂) 以下	718,011	(kg-CO ₂)以下。	同左
電力の使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 29,874(kWh)以下	29,874	(kWh)以下。	同左
ガソリンの使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 43, 755(L)以下	43, 755	(L)以下。	同左
軽油の使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 233, 556(L)以下	233, 556	(L)以下。	同左
灯油の使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 143(L)以下	143	(L)以下。	同左
液化石油ガス(LPG)の使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 460(kg)以下	434	(kg)以下。	同左
水使用量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 408 (m ³) 以下	408	(m ³)以下。	同左
一般廃棄物排出量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 5,991(kg)以下	5,991	(kg)以下。	同左
産業廃棄物排出量を基準年度より、0.5%以上の低減に努める。 948(kg)以下	948	(kg)以下。	同左
ガソリンの燃費(ワゴン車)を基準年度より、0.2km/L 向上するよう努める。 7.39(km/L)以上	7.39	(km/L)以上。	同左
軽油の燃費(トラック)を基準年度より、0.2km/L 向上するよう努める。 6.66(km/L)以上	6.66	(km/L)以上。	同左
グリーン(エコカー)商用車購入の推進年間 2 台の入れ替えするよう努める。	2	台	同左

* 2023 年度より燃料、ガスの基準年（2019 年）を設け、0.5 パーセント以上の削減に取り組んでいる。

* 電気、水道は 2021 年度を基準年とし、0.5 パーセント以上の削減に取り組む。

* 商用車の新車購入については 2 台の入れ替えが出来た。

9 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 当社に関連する法規

- * 東京都の環境確保条例（粒子状物質排出基準の遵守、等）
- * 埼玉県環境確保条例（アイドリングストップの遵守、等）
- * 廃棄物処理法（産業廃棄物はマニフェストで適正処理、等）
- * 自動車 NOX、PM 法（PM 削減装置、低公害車の導入）
- * 自動車リサイクル法（リサイクル料金の負担、自動車の引き取り業者への引き渡し）
- * 貨物自動車運送事業法（運行管理、運転台帳の整備、運行管理者の届け出、整備管理者の届け出）
- * 道路運送車両法（3 ヶ月点検、車検整備、日常点検、等）
- * 高圧ガス保安法（省令で定める保安上の措置、車両積載方法）及び移動方法の技術上の基準を守る。
- * 浄化槽法（排水の基準 BDO20mg/L 以下及び除去率 90%以上）
- * フロン排出抑制法（第一種特定製品の簡易点検）

上記法規は e-Gov などにて確認している。

② 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。

尚、環境局より違反等（交通違反を除く）の指摘は過去 5 年間ありません。

訴訟、苦情等も同様に 1 件もありません。

10 代表者による全体の評価と見直し(Act)

2025 年 1 月 18 日

見直し時期	2025 年 1 月 18 日	場所	所沢配送センター
参加者	渡邊社長、渡部所長、林口所長、渡辺運行管理者、 吉田整備管理者、川俣部長		
インプット情報	評価と見直し		社長コメント
環境関連法規の遵守状況のチェック結果	携帯電話の罰則強化 対応策としてイヤホンでの通話や、緊急でない時は路肩など交通に障害がない場所に止めて対応する事が出来ている。	イヤホンでの対応では意識が散漫になることも有るので、できる限り車を止めて対応する事が望ましい。	
	あおり運転等の罰則の強化 相手の主張がすべてではないが、感じ方である為、防衛策として、デジタコやドライブレコーダーを全車に取付け、証拠を残す。	デジタコやドライブレコーダーの装着により、相手方にあおり運転だと、感じさせないよう自覚を持って安全運転して下さい。	
環境活動目標の達成度	燃料(ガソリン、軽油)、ガスの基準年を 2017 年からコロナ前の 2019 年にすることを目標にして取り組み、0.5%以上の削減が出来た	今後も基準年より 0.5%の削減を目標に取り組んでください。	
環境経営活動の実施状況	商用車の燃費の向上に努め、帰り荷(庸車)や、一般輸送に振り替えるなど CO2 の削減に努めた。	燃費は基準年度より、0.2%以上の向上に努める事。	
問題点の是正、予防処置の状況	特になし	今後も最新の環境への負荷の自己チェック表も活用する	
外部からの苦情の有無	特になし	これからも苦情等の無い様にして下さい。	
緊急事態の訓練結果	安全講習により、今一度安全運転の重要性を確認した。10 月 12 日(所沢センター、柳瀬公民館)にて実施	無事故により社員の安全が図られる事が一番重要な事です。	

経営状況の変化 (1)	2024 年 4 月より時間外労働の 960 時間上限規制問題で労働時間の短縮による輸送能力不足が懸念される。弊社においては長距離輸送の削減に迫られている。	長距離輸送は 1 日を空け、満載での輸送、帰り荷等、効率的な輸送をする事。
経営状況の変化 (2)	円安等、燃料の高騰を運賃などに転嫁できにくい状況にあるが、これからも既存のお客様の信頼を得て、ご依頼いただくよう努力していく。	今後もお客様の信頼を損なわないよう、丁寧な仕事を心掛け、配送、入出庫、管理を行う事。
変更の必要性の確認	環境経営方針 環境経営目標 環境経営計画 実施体制 火災訓練	(必要 / ☒ 不要) (必要 / ☒ 不要) (必要 / ☒ 不要) (必要 / ☒ 不要) (必要 / ☒ 不要)
その他	2024 年度も、燃料(ガソリン、軽油)ガスの基準年の継続	燃料、ガスは 2019 年を基準年とし、なお一層の削減に努めてください。